

中国語教育の現場から

“不管…都”と“不管…也”に関する一考察

顧 令 儀

要旨 “不管”は初級文法の後半によく出てきて“都”あるいは“也”とセットにして使うものである。この“都”と“也”は、互いに置き換えることができる場合と簡単には置き換えられない場合とがある。そこで、“都”と“也”の本来持っている意味と調査対象であるネイティブ教師の使いかたをもとにしながら、“都”と“也”はどんな場合に置き換えることができるのかを検討した。その結果、“都”と“也”は、無条件には置き換えられないことがわかった。よって、今後の教育現場において、初・中級学習者に対しては、“不管…都”を優先的に教えることを提案したいと思う。

1. 問題の提起

“不管”“不论”“无论”(三者間には意味や文法機能で共通する点が非常に多いため、以下、“不管”と略す)の“也/都”と呼応している用法は、初級文法の後半によく出てくる。“不管”の後には、疑問詞を含む文、同じ動詞や形容詞の肯定形プラス否定形のパターンすなわち“V不V”“A不A”文、複数の物事をあげて選択形にする文、並列の文、この四パターンの文のどれかがくるのがほとんどであり、多くの教科書に“都”あるいは“也”とセットにして使うと書かれている。教えるときもたいていこのように教えているのが実情であろう。しかし、学生にこの用法を利用して次の文を中国語に訳させてみたところ、次のような問題点が見られた。

1. 中国語がどんなに難しくても、私は勉強を続ける。
 2. 彼が行っても、行かなくても、私は行きます。
 3. ラーメンでも、焼肉でも、私はどっちも好きだ。
 4. 春夏秋冬かまわず、彼女はいつもスカートを穿いている。
- 以上の1～4の内、全ての文に対して、それぞれ二通りの答案が出た。

1. a 不管汉语多么难学，我都要坚持学下去。
b 不管汉语多么难学，我也要坚持学下去。
2. a 不管他去不去，我都去。
b* 不管他去不去，我也去。
3. a 不管是拉面还是烤肉，我都喜欢。
b* 不管是拉面还是烤肉，我也喜欢。
4. a 不管春夏秋冬，她都穿着裙子。
b* 不管春夏秋冬，她也穿着裙子。

要するに、“不管…都”を使った学生もいれば、“不管…也”を使った学生もいる。おそらく学生の中には、この場合どちらを使ってもかまわないという認識があるからだろう。しかし、上の答案文の中には*を付けたような明らかに不自然な語句がある。つまり、“不管”とセットになっている“也”と“都”は置き換え可能な場合もあるが、不可能な場合もある。“也”と“都”の両者を挙げておきながら、両者の使い分けを説明しない（初級段階では説明しても理解されるのが難しいと思われるため）教科書の書き方は、もう少し検討したほうがよいのではないかと思う。

これらの問題をふまえて、まず一部の教材を調べてみた。“不管…都”と“不管…也”は初級後半の文型であるため、取り扱っている教材もほとんどが初級から中級レベルのものとなった。

例えば、『中級中国語 新会話スキット24』(p.65)では、“不管…也(都)”は“也(都)”の形をとっているから、“不管…也”を第一義的なものとして、場合によって“也”の代わりに“都”を用いてもよいと学生には理解されやすい。意味については、「～にかかわらず」という日本語訳のほかに、「どんな条件でも結論が変わりがないことを表す構文である」と説明してい

る。その例文は三つあり、“也”を使うものが一つ、“都”を使うものが二つあった。けれども、どの例文も“都”と“也”両方が使えるかどうか、また、どんな場合にどれを使うべきか、つまり、両者の使い分けなどについては説明されていなかった。

また、『系統的に学ぼう中国語Ⅲ [会話表現コース]』(p. 69)では“不管…都/也…”と“无论/不论…也/都…”を二つの項目に分けて教えており、両項目の日本語訳はそれぞれ「～であろうと～であろうと、～」「～いくら～も、～」となっていた。各項目には四つずつ例文があり、“不管…都/也…”の例文には“都”を使うものが三つ、“也”を使うものが一つ、“无论/不论…也/都…”の例文には“也”と“都”を使うものが各二つずつあった。もしかすると、これは第一項目で“都/也”、第二項目で“也/都”の形を採る所因かもしれない。学習者に考えさせる問題として、「思考」欄では“(…) 不管…都/也…”と“(…) 无论/不论…也/都…”の前後にはどんな言葉が来ますか」「“(…) 不管…都/也…”と“(…) 无论…也/都…”は同じですか」と質問している。この教材の教授用資料を調べてみたところ、挙げられた観察用の実例は、やはり“不管”のあとは口語、“无论”のあとは文章語という文体上の差異が見られるほかはなかった。この教科書(教授用資料を含めて)も、“不管”と“无论/不论”の文体上の違いを学習者に注意させようとしているようであるが、“不管…都”と“不管…也”、また“无论/不论…也”と“无论/不论…都…”の違いについてはまったく触れていない。

“无论～都(也)～”“不管～都(也)～”を二つの課にわたって教える教材もあって、『体感中国～初級からのステップアップ～』がそれである。それぞれ「どんなに～ても」(p. 29)、「たとえ～であろう、たとえどんなに～ても、～にもかかわらず」(p. 34)という日本語の説明があり、二例ずつ挙げてあった。しかし、その四例ともが“都”を使うもので、“也”を使う例は一つもなかった。当然、どんな場合に“也”を使うべきかについての説明は一言もなかったのである。その他に、『ぐんぐんのびる中国語2』という教材では、“无论/不管/不论～都/也…”(～を問わず)(p. 71)として、

例文二つを挙げているが、二つとも“都”を使う例文で、“也”を使う例文はなかった。

これらの教科書を見る限り、“不管…都”と“不管…也”は同様に使われているので、学習者は如何なる場合でも置き換えることが可能であると理解してしまうであろう。しかし、前述の学生が訳した文を見ると、明らかに置き換えることができないものもあれば、置き換えては不自然になるものもある。この文型を教えるとき、教科書のように“都”と“也”を無条件に並列して教えてもよいのかということ、補足するとしたらどのようにすればよいのかということを考えなければならないと思う。そのために、可能な限り、“不管…都”と“不管…也”の使い分け、すなわちどんな場合に両者を言い換えることができ、どんな場合に置き換えられないのかという点をはっきりさせて、教育の段取りを考え、どの段階でどこまで教えたほうがよいのかなどについて追求してみることが、この考察の趣旨である。

2. ネイティブの教師の見解

自然な中国語表現は、数多くの調査によるデータバンクを利用して分析すべきだと思うが、それは今後の課題にする。本考察では、中国語の授業の際にどう教えるかを規範にすべきなのかということ調べるため、文例を10人のネイティブ教師に判断してもらった。

表1はその回答である。「○」は自然な中国語、「×」は不自然か普通あまり使わない表現、「△」はやや不自然か、使えないほどではないが使わないでほしい表現とした。

例文のうち、“不管”の後に疑問詞が含まれる語句が8組、“V不V”“A不A”の語句、選択の語句、並列の語句はそれぞれ2組ずつとして全部で14組、また、“都”を使う文と“也”を使う文は同じく14文ずつである。“都”を使う14文のうち13文に対して、全員が“都”を使うほうが自然だと答えているが、例文6“不管你再怎样保证，我都不会相信你了”にだけ、一人の教師が“都”を使わずに“也”を使うと答えている。また、“V不

“不管…都”と“不管…也”に関する一考察

表 1

疑問詞の場合：		○	△	×	
1	a	不管哪一门功课，我们都应当认真学习。	10		
	b	不管哪一门功课，我们也应当认真学习。	3	2	5
2	a	不管你有什么要求，我都答应。	10		
	b	不管你有什么要求，我也答应。	3	1	6
3	a	这本书，不管是哪一段，我都能背下来。	10		
	b	这本书，不管是哪一段，我也能背下来。	3	1	6
4	a	不管遇到什么困难挫折，我们都不能放弃理想。	10		
	b	不管遇到什么困难挫折，我们也不能放弃理想。	8	1	1
5	a	不管我在家多么调皮，妈妈都不会生气。	10		
	b	不管我在家多么调皮，妈妈也不会生气。	8		2
6	a	不管你再怎样保证，我也不会相信你了。	9		1
	b	不管你再怎样保证，我也不会相信你了。	10		
7	a	不管你怎么想，都做不出这道题来。	10		
	b	不管你怎么想，也做不出这道题来。	10		
8	a	不管多贵，我都买得起。	10		
	b	不管多贵，我也买得起。	9		1
“V不V”“A不A”の場合：					
9	a	不管你去不去，我都不去。	10		
	b	不管你去不去，我也不去。	2		8
10	a	不管外面热不热，他都不开空调。	10		
	b	不管外面热不热，他也不开空调。	2		8
選択の場合：					
11	a	不管刮风还是下雨，他都准时到校上课。	10		
	b	不管刮风还是下雨，他也准时到校上课。	2	1	7
12	a	这本书不管是内容还是写法，都很棒。	10		
	b	这本书不管是内容还是写法，也很棒。	2		8
並列の場合：					
13	a	不管男女老少，都要遵守法律。	10		
	b	不管男女老少，也要遵守法律。	2		8
14	a	不管是亲情、友情、爱情，都可以创造奇迹。	10		
	b	不管是亲情、友情、爱情，也可以创造奇迹。	1	1	8

V”“A不A”の場合、選択の場合、並列の場合の“都”を使う例文については、全員一致で自然な中国語だと認めており、“也”を使ってもよいと判断されたのは1～2割に過ぎなかった。

同じ文章の“都”を“也”に置き換えると、ネイティブ教師の意見は一致しなかった。“V不V”“A不A”の場合、選択の場合、並列の場合を見ると、その傾向が著しく、少なくとも8割の教師はあまり“也”を使わないようである。しかし、疑問詞の場合は、教師たちの見方は一致しないところが多い。

いったい何故このような現象が起きているのか、教師たちの意見の不一致をどう理解すればよいかを、考えてみたい。

3. “都”と“也”の使い方を考える

一組の例文は、“都”と“也”以外全く同じなので、問題の焦点は“都”と“也”の使い方に絞ることができるだろう。この二つの言葉、また“不管”“不论”“无论”については、先賢の論文が多数出されている。それぞれに納得できる見解が見られるが、原点に戻っていえば、やはり次のようになるのではないかと思う。

“都”：

- 1 表示总括全部。(下略)(《现代汉语八百词》增订本 p.177)
- 2 总括前边提到的事物，表示后边提到的动作没有例外。(中略)此外“都”概括全范围，被概括的可以是具体有所指的，也可以是任指的，这时动作的主体或对象常用一些疑问代词“谁”“什么”等表示。表示概括全范围的“都”还可以跟“不论(无论)”“不管”等搭配。(《现代汉语虚词例释》pp.140-141)
- 3 ①表示总结。(中略)⑦在表示无条件的复句中，前面小句出现“无论”“不管”等关联词语，后面小句用“都”进行总结。总结的是任何情况、条件。(《现代汉语虚词词典》pp.149-151)

“也”：

- 1 ①表示两事相同。(中略) ②表示无论假设成立与否, 后果都相同。……这项用法是从“也”的基本用法引申出来的。(《现代汉语八百词》增订本 pp. 595-596)
- 2 ①“也”的基本作用表示类同, 强调前前提到的两件事或两种情况在性质上有类同之处。(中略) ④在主从复句里起承接作用, 表示条件、原因、目的、假设、让步、转折等关系。(中略) ⑤跟连词“如果”“无论”“虽然”“就是”等搭配使用。(下略) (《现代汉语虚词例释》pp. 518-522)
- 3 ①表类同。(中略) ⑤与“即使”等搭配, 表示让步关系(既有假设, 又有转折)。(中略) ⑥(前略)与“不管”等搭配, 表示无条件关系。(《现代汉语虚词词典》pp. 588-594)

前節で挙げた例(表1)で言うと、“不管”の後に“都”を使う14文のうち、13文が“都”の使用を認めている。これはまさにここで言う“总括全部”“概括全范围”“后面小句用‘都’进行总结。总结的是任何情况、条件”の用法に当てはまる。例文“不管你再怎样保证, 我都不会相信你了”についてだけ、一人のネイティブ教師が“都”を使わずに“也”を使うとしている。筆者の考えでは、この例文を“不管你再怎样保证, 我都不会相信你了”(“怎样”をプロミネンスにして)と読むと、あらゆる形の約束、すべての保証を強調する意味が出るので、後半は自然に“总括全部”“概括全范围”“总结的是任何情况、条件”の“都”が出てくる。一方、“不管你再怎样保证, 我都不会相信你了”(“再”をプロミネンスにして)と読むと、“約束”“保証”の極端なレベルやきわめて高い頻度を話のポイントにした感じが出る。この場合、後半は“也”を用いるようになっても不自然ではないであろう。要するに、“都”を使う場合は“总括全部”“概括全范围”“总结的是任何情况、条件”に重みを置いているが、もう一方の場合は、前半は“再”を強調すれば、“你再保证”“哪怕你再保证”“就是你再怎么保证”のような言い方と似てしまうため、“也”を使って“无论假设成立与否, 后果都相同”“表示无条件关系”の意味を表している。

疑問詞の場合に限って見ると、“都”を使うネイティブ教師が10人、“也”

表2

4	a	不管遇到什么困难挫折，我们都不能放弃理想。	10
	b	不管遇到什么困难挫折，我们也不能放弃理想。	8
5	a	不管我在家多么调皮，妈妈都不会生气。	10
	b	不管我在家多么调皮，妈妈也不会生气。	8
6	a	不管你再怎样保证，我都不会相信你了。	9
	b	不管你再怎样保证，我也不会相信你了。	10
7	a	不管你怎么想，都做不出这道题来。	10
	b	不管你怎么想，也做不出这道题来。	10
8	a	不管多贵，我都买得起。	10
	b	不管多贵，我也买得起。	9

を使うネイティブ教師が8人以上の例文は、表2のようである。

表2から4組の文においては8割以上のネイティブ教師が“都”を“也”に置き換えてもおかしくないと判断したことがわかる。“不管遇到什么困难挫折，我们都不能放弃理想”は、あらゆる種類の困難を強調する意味に使い、“不管遇到什么困难挫折，我们也不能放弃理想”は、どれほど大きな、ひどい困難であるかを強調する意味に使う。同じく、“多么调皮…都”は程度や内容が異なるすべてのいたずらを指し、ある意味でいたずらの範囲と捉えることが可能であって、“多么调皮…也”は腕白の極端さをいうニュアンスで述べている。“怎么想…都”はどんな角度から考えても、“怎么想…也”はどんな珍しい考え方から考えてもというニュアンス、“多贵…都”は高さの範囲、“多贵…也”は高さの極端な程度をいうニュアンスを持っている。

もう少しわかりやすい例を以下に挙げよう。

1. 部长来，副总统来，甚至是总统来，都没用。
2. 即使让总统来也没用。
3. 不管谁来，都没用。
4. 不管谁来，也没用。

この四つの例文を比較すると、1の“部长来，副总统来，甚至是总统来，都没用”は来る者の範囲を示しているのに対して、2の“即使让总统来也没

用”は「たとえ大統領が来ても駄目だ」という想像可能な極端なレベルを指している。この二つの文と同じく、3の“不管谁来, 都没用”は「担当者の部長が来ても、副大統領が来ても、大統領が来ても、誰が来ても駄目だ」というニュアンスであるのに対し、4の“不管谁来, 也没用”は「たとえナンバーワン、この上ないトップの大統領が来ても駄目だ」というニュアンスになる。つまり、“不管…都”は範囲内では例外がないことを強調しているのに対し、“不管…也”は範囲内でもっとも極端な状況を強調しているのである。

“V不V”“A不A”の場合、選択の場合、並列の場合は、どの場合もあり得るすべての可能性を具体的に示し、範囲がはっきり決められている。表1の例文で言えば、9“去不去”は「行く」か「行かない」かのどちらか、12“内容还是写法”は「内容」あるいは「書き方」のどちらから見ても、14“亲情、友情、爱情”は「家族愛」「友情」「愛情」三者のどれも、ということを行っている。これに対して“总括全部”“概括全范围”“总结的是任何情况、条件”とすれば、自然に“不管…都”の表現を使ってしまおうであろう。ネイティブ教師が全員この表現に○を付けたことは予想通りの結果である。

以上、いくつかの例文を挙げ10人のネイティブ教師の意見に基づき、“都”と“也”の基本的用法を考察してきた。理解に不適切なところはないか、またネイティブ教師の本意に百パーセントそっているかどうか、判断しかねるところではあるが、以上が筆者の考えである。

4. 教育現場への提案

“不管…都”と“不管…也”の文型における“都”と“也”の使い分けについては、筆者だけで結論を下せないことは百も承知している。もしかすると、まだ研究すべき点はたくさん残っているかもしれない。そうだとすると、少なくとも“都”と“也”は無条件に置き換えることができると言えないことは間違いない。

しかも、どんな場合に“都”と“也”は置き換えられるのか、その際にニュアンスの上でどのような違いが出てくるのか、初・中級ではなく、中・

上級の内容にしたほうがよいと思う。そうすれば、少なくとも、初・中級の中国語学習者の“都”と“也”の誤用をある程度防ぐことができるだろう。そのために、今後の教育現場において、“不管…都”を優先的に学生に教えるようにするべきではないかと考える。

内容について、みなさまのご叱正、ご指摘をいただければ幸いである。

参考文献

- 吕叔湘主编 (1999) 《现代汉语八百词》增订本, 商务印书馆
张斌主编 (2001) 《现代汉语虚词词典》商务印书馆
北京大学中文系1955、1957级语言班编 (2010重印) 《现代汉语虚词例释》商务印书馆
杉村博文 (1992) 《现代汉语“疑问代词+也/都……”结构的语义分析》《世界汉语教学》第3期, 166-172页
袁毓林 (2004) 《“都、也”在“Wh+都/也+VP”中的语义贡献》《语言科学》第3卷第5期, 3-14页

顧令儀 Gu Lingyi 博士 (學術) 愛知県立大学グローバル人材育成推進室講師 専門:
東アジア地域文化、日本人への中国語教育